

児島湖を考える

～防災・自然・水質の今昔～

農地創出を目的とした干拓が戦国時代から行われている岡山平野には、児島湖の完成によって十分な農業用水の供給が可能となり、大規模な水田や広大な農地ができました。

現在は近代的な機械農業化により多くの米・麦などが収穫され、また県民の3人に1人(約66万人)が児島湖やそこへ流れ込む河川(笹ヶ瀬川・倉敷川・足守川など)の周りに住んでおり、児島湖の恩恵を受けています。

このようにわたくし達の農業や生活に深く関わっている児島湖のなりたちから、そこにつくられ育まれた独自の自然環境、更には水質の移りかわりなどといった役割と課題について、この講座を通じて考えてみませんか？

<交通案内>

○車では

県立図書館敷地内の駐車場(有料)をご利用下さい。

詳しくは県立図書館ホームページ(<http://www.libnet.pref.okayama.jp/>)をご覧ください。

○JR岡山駅方面からは

路面電車…東山行き「県庁通り」下車、徒歩5分

バス…いずれのバスとも「県庁前」下車すぐ

岡電バス：岡電高屋行き

宇野バス：四御神・長岡・駅前・瀬戸駅、八日市、片上行き

両備バス：東山・西大寺・倉益南・旭川荘・操南台団地行き

周辺道路が混雑しますので、
できるだけ公共交通機関を
ご利用下さい



岡山県マスコット「ももっち」「うらっち」



児島湖を考える 参加申込書

ふりがな
氏名

連絡先 ☎

※定員を超過する場合にのみ連絡します。また、いただいた個人情報は本件に関する事項以外には使用しません。